



地域学校協働NEWS 冬号

発行日 令和4年12月20日

■子どもたちと一緒に考える地域の防災■

会津若松市教育委員会では、子どもたちが健やかに育っていくために地域と学校がパートナーとして連携・協働する取組を進めています。

その中では、見守り、授業支援、環境整備など様々な活動を行っているところですが、子どもたちと一緒に地域の防災について考える防災教育にも力を入れて取り組んでいます。

震災の記憶・実感のある者から震災の記憶のない世代へ伝えていく震災・防災教育。今年度は教育防災教育コーディネーターの関谷さんにプロデュースして頂きながら主に各地区の「放課後子ども教室」で「防災教室」を実施し、防災についての知識や情報を楽しく学びました。



あいづっこ1455での活動の様子



関谷央子
防災教育コーディネーター

防災教室を始めて2年目となりました。「防災」と聞くと「難しそう」と思う方も多いのですが、身近なものを活用した防災工作やカードゲームなどを取り入れて、楽しく取り組める工夫をしています。子どもたちは、話を聞いているときは真剣に、活動に取り組んでいるときは笑顔になったり、時には失敗して悔しそうだったり。集中して取り組んでいることがよくわかります。子どもたちの「楽しい!」「おもしろい!」を「もっとやりたい!」「もっと知りたい!」につなげて、家庭や学校でも自ら探求する気持ちを発揮してほしいと思っています。



2学期の活動の様子



図工授業支援（城西小）



まち探検見守り（謹教小）



環境学習講師（4中）

ボランティアを募集しています！

「子どもたちのために、何かお手伝いをしてみたい」「特技や趣味を生かして学校へ協力したい」という方、いらっしゃいませんか？学校の求めに応じて「できることを、できるときに、できる範囲で」支援して下さる方を「あいづっこ応援団」として募集しています。

今年度も大変ありがたいことに「子どもたちの見守り」や「調理実習、裁縫、工作、習字などの授業の補助」「除草、剪定などの環境整備」「趣味を活かした講演」等々な活動で支援して頂きました。

活動時には、学校ごとに配置しているコーディネーターがサポートしますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】会津若松市教育委員会生涯学習総合センター
電話：0242-22-4700 / FAX：0242-22-4702